

第148回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年8月19日（金）16:00～16:15
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

(1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について

(保健福祉部長)

5ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

昨日（18日）の新規陽性者数は3,585人で、初めて3千人を超えた17日に続き、二日続けて過去最多を更新しております。

次に、4ページ。

8月18日現在の療養者の状況です。

入院者はこれまでで最多の479人、うち重症者が1人となっています。

療養者数の合計は21,671人、自宅療養者数は20,882人でいずれも初めて2万人を超え、過去最多となっております。

病床等の状況についてですが、現在の医療のひっ迫状況を踏まえ、一部の医療機関において、臨時的に病床を拡充していただき、本日時点で、12床増となります。

これにより、即応病床数は745床から757床、通常時最大の確保病床数は749床から761床となります。

なお、緊急時の確保病床数は、2床増となり、823床となっております。

次に、6ページ。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は839.37人（18日現在）。

これまで最多であった750.57人を大幅に上回り、これまでで最多となっております。

次に、8ページ。

病床使用率は64.0%。6割を超える日が続いており、非常に高い状況となっております。

次に、10ページ。

人口10万人当たりの療養者数は、1,182.17人。初めて1,100人を上回りこれまでで最多となりました。

次に、12ページ。

保健所所在市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

いわき市が1,000人を超え、郡山市、会津若松市、福島市が800人を超えているほか、白河市、須賀川市が700人を上回っており、南相馬市も600人に近づいております。

次に、13ページ。

保健所所在市を除く各市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

本宮市が900人を超え、喜多方市も800人を上回っているほか、伊達市、二本松市、相馬市が600人を超え、田村市が500人を超えております。

次に、14ページ。

モニタリング指標です。

「病床の使用率」(64.0%)、「入院率」(2.2%)、
「人口10万人当たりの療養者数」(1,182.17人)、「PCR陽性率」(52.5%)、
「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(839.37人) が、レベル3、
「重症者用の病床使用率」(2.2%)、が、レベル1となっております。

次に、資料3、16ページ。

感染急増によりまして医療機関の診療体制がひっ迫しております。

重症化リスクの高い方が適切に医療機関を受診できる体制を確保するため、重症化リスクが無い方を対象に、医療機関への受診を経ずに陽性者として登録する「陽性者登録センター」を新たに設置することといたしました。

なお、登録後は、これまでと同様、フォローアップセンターを通じて健康相談などのサポートを行ってまいります。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

17ページ、資料4をご覧ください。

【資料4】

接種実績ですが、8月17日時点で、3回目接種の回数が、1,309,811回、全人口に対する接種率は70.3%となっております。

また、高齢者や医療従事者等を対象とする4回目接種の回数は、316,278回となっております。

資料右側ですが、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が40.5%、2回目が37.6%となっております。

次ページをご覧ください。

9月に実施する大規模接種の予定になります。

8月に続いてノババックス社ワクチンを用いて、ご覧の県内4地域で実施することといたしました。予約は明日午前9時から受け付けます。

感染リスクが非常に高まっている中、医療非常事態宣言及び感染拡大警報強化版が発出され、速やかなワクチン接種が求められておりますことから、引き続き市町村等と連携をしながら、ワクチン接種促進に取り組んでまいります。

(教育長)

学校関係ですが、県内の感染が拡大している中、まもなく県立学校の夏季休業が終了し、順次授業が始まることから、基本的な感染症対策を徹底し、風邪の症状などがあり、普段と体調が少しでも異なる場合には、自宅での休養を徹底するなどの対応をとるよう指導するとともに、部活動における宿泊を伴う遠征や合宿等の活動を当面の間停止し、授業や部活動における感染リスクの高い活動については、各学校の状況に応じて慎重に検討するよう、昨日、県立学校に通知しました。

なお、市町村立学校についても、県立学校の例を参考とした感染症対策の徹底を市町村教育委員会に依頼しております。

今後とも学校内及び家庭内、学校外における活動においても、感染症対策を徹底するよう指導してまいります。

(総務部長)

私立学校におきましても、夏季休業が終了するに当たりまして、子どもたちの感染から更なる感染拡大が生じることを防ぐため、昨日、学校設置者に対しまして、改めて学校における感染防止対策の再点検と徹底を要請する通知を発出したところであります。

(金光教授)

全国ニュースでは全数把握をやめて定点にしようとか、2類相当から5類にしようというような話が出ておりますが、今の福島県にとっては全く二の次の話であると思っております。

今の福島県の病床利用率はもう65%であります、医療機関の負荷が限界であるところまで達しているだろうと思います。

昨日の新規の陽性者、約3,600人は、福島県の人々の行動の、あるいは感染対策の現れ、その結果だと思っております。

しばらくはこの負荷は続くだろうと思っておりますが、もう一人一人が自分の行動をよく考えて、確かに動かないわけにはいかないという方もいらっしゃると思いますが、できる人から一人一人行動をある程度制限をしていくということが私は必要であると考えてございます。

特にふだん会わない人と接触、お会いになるというときは特に感染対策に御留意願いたいと考えております。

(知事)

全国では、昨日、過去最多となる25万5千人を超える新規陽性者が確認されたほか、21道県で過去最多を更新するなど、感染拡大の勢いが止まりません。

本県においても、昨日は3,585人の新規陽性者が確認されており、2日間連続で3千人を超え、過去最多を大幅に更新するなど、いまだ感染のピークが見えない厳しい状況が続いています。

また、8月15日から18日に行われたゲノム解析の結果では、感染力の強いBA.5系統の割合が94%となり、置き換わりが進んでいることから、今後さらに感染が拡大するおそれがあります。

こうした中、感染者の大幅な増加や、医療従事者の感染等によるスタッフの減少などにより、本県の医療体制が危機的な状況にあることから、先週の本部員会議において、「福島県医療非常事態宣言」を発出したほか、「BA.5対策強化宣言」を兼ねた「福島県感染拡大警報強化版」を発出しました。

県民の皆様においては、緊急を要する場合を除き、医療機関を受診する際は平日の診療時間内に受診いただくとともに、軽症で重症化リスクのない方は、新たに設置をする「福島県陽性者登録センター」を利用するなどして、地域医療への負荷を減らすための御協力

をお願いします。

また、県民の皆様お一人お一人が感染対策を徹底していただくことにより、新たな感染者を減らしていくことが重要です。このため、次の点に注意していただくようお願いいたします。

まず、お盆期間中、普段と違う行動をされた皆様へのお願いです。

今年のお盆は、行動制限がなかったこともあり、帰省や旅行など、普段の生活とは異なる行動をされた方も多かったと思います。

現在、県内の新型感染症による療養者は2万1千人を超えており、県民の約85人に1人が療養中です。

このような状況においては、あらゆる場面で感染のリスクがありますので、「自分は大丈夫」とは思わずに、体調チェックを毎日行い、発熱や咳等の症状が少しでもある場合には、外出を控え、自宅で安静に過ごすようにしてください。

加えて、感染リスクを減らすためにも、概ね1週間程度の間は、買い物は空いている時間に行う、通信販売を活用する、在宅勤務を行うなど、人との接触を極力避ける行動をお願いします。

次に、夏期休業明けの教育施設等におけるクラスター発生防止に向けたお願いです。

来週から多くの学校で2学期が始まります。校内でクラスターを発生させないよう、本人や御家族に発熱や咳等の症状が少しでもある場合には、登校や登園前に学校に御相談ください。

特にマスク着用が推奨されていない園児等の場合は、御家族に何らかの症状がある場合、園児自身の症状の有無に関わらず、登園を控えるようにしてください。

また、学習活動や部活動などを行う際には、マスクの正しい着用や、人と人との距離の確保、十分な換気など、感染対策を徹底していただくようお願いします。

県内の多くの市町村において、短期間に過去最多を何度も更新するなど、これまでにない勢いで感染が拡大し、救急搬送の困難な事案も過去最多を記録するなど、地域医療を維持していくことが限界に近づいています。

こうした中、県民の皆様命と健康を守るため、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係の皆様、心から敬意と感謝の意を表します。

この感染拡大を一日も早く抑えていくためには、県民の皆様お一人お一人が強い危機意識を持って、「感染拡大警報強化版」で示した9つの感染防止対策に取り組んでいただくことが重要です。

加えて、いつもと違う場所に行ったり、普段会わない方と一緒に過ごした後でもあり、この時期は、特に注意が必要です。

地域医療を守り、御自身と大切な方の命と健康を守るためにも、県民の皆様においては、引き続き、感染防止対策への御協力をお願いします。